

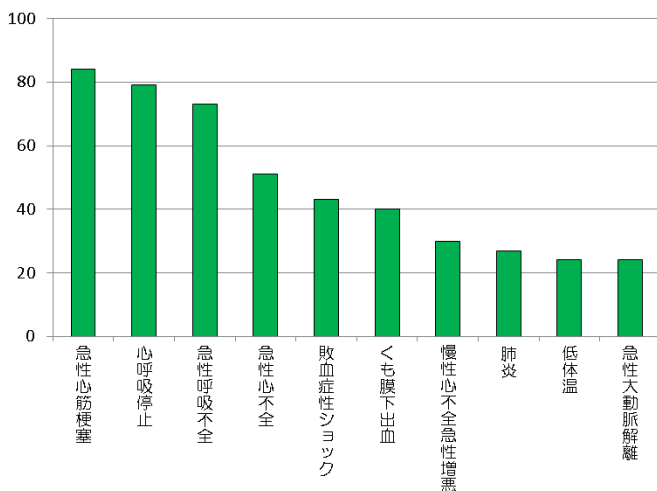
救命救急科・集中治療科

当院の救命救急センター外来(ER)には、年齢・重症度を問わず年間 22,000 例前後の患者が来院されます。これらの患者すべてを救命救急科医が診察し、24 時間体制で待機している各科専門医の協力体制の下、紹介や搬送となった患者を原則断ることなく、当地域の最後の砦という気概を持って奮闘しています。

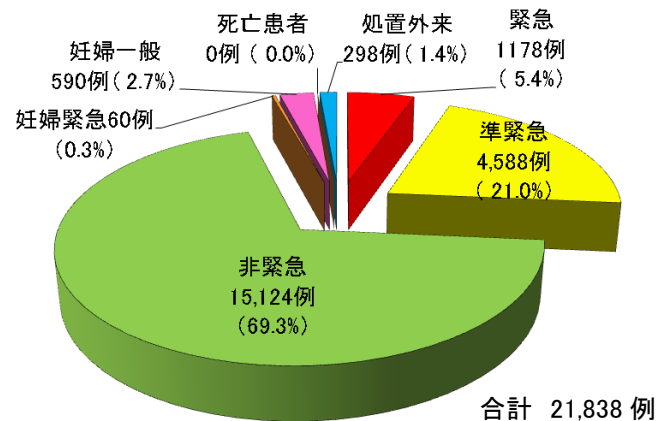


救命救急科の入院患者は年間 800 例前後で、重症患者だけでなく、経過観察入院や社会的入院患者の管理も行っています。また院内で重症化した患者や急変患者にも対応しています。集中治療室(ICU)には各科の重症患者さんが年間約 1,000 例程度入室し、各科の協力を結集して治療にあたります。日々、生死に関わる医療が繰り返され、院内で最もドラマチックな部門の 1 つです。

救急外来重症症例(H29 年度)上位 10 疾患 総数 1045

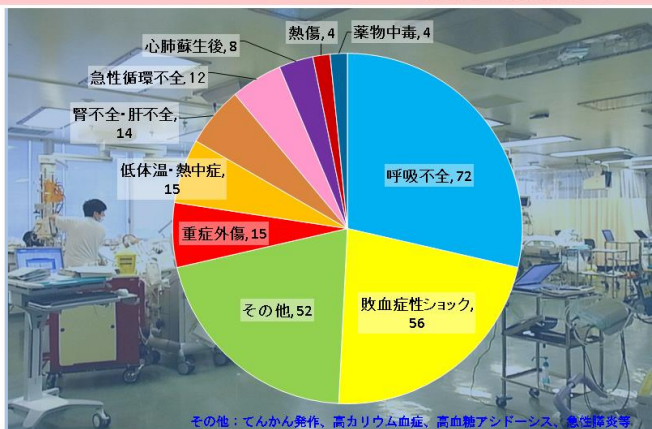


救急外来受診患者数(H29 年度)



ICU(集中治療室)管理

救命救急科におけるICU入室患者 のべ252人/年間(平成29年度)
(ICU全入室患者数:999人)



ドクターヘリは年間約 600 件出動

院内業務に加え、積極的に病院前救急医療にも関与し、ドクターカー、ドクターヘリの運用や、災害医療にも深く関わっています(DMAT チーム)。地域に密着し地域の人々の命を守ることが当科の使命であるという理念の元、日々臨床に望んでいます。